

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOI STANCE KIDS (放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	令和8年3月15日		～	令和8年3月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和8年3月15日		～	令和8年3月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士、言語聴覚士、保育士など児童支援の専門家が認知、運動、コミュニケーション、社会性のアセスメントを行い個別プログラムを立案し介入する。	評価結果を職員間で共有・ディスカッションを行いながら個別プログラムへ反映している。アセスメント結果を保護者にもより分かりやすく伝えるために保護者へ動画や写真を用いて情報共有を実施している。職員間での研修を実施している。	一定期間ごとに再評価を実施し、発達の変化や支援効果を定期的に検証する仕組みを整えることで、より精度の高いプログラムの見直しにつなげていきます。
2	1対1の短時間個別の支援を中心に、集中できる環境を整え児童の特性に合わせた支援を行う。個別支援のため本人にとって必要な課題を提供することができる。	児童一人ひとりの特性に応じて、刺激量(音・視覚・空間)を調整した環境設定を行い、短時間でも集中できる支援を実施している。	今後は、支援場面だけでなく保育園・幼稚園や家庭でも活かせるよう、環境調整や関わり方のポイントを保護者・関係機関へ具体的に共有していく。
3	就労継続支援B型、自立訓練を運営するSOI STANCEのノウハウを活かし、障がいを抱える就労前の中高生を対象に就労準備型のトレーニングを行う。	就労継続支援B型や自立訓練で培ったノウハウを活かし、実際の就労場面を想定したトレーニングを提供している。長期休暇中には就Bでの体験や実習機会を設け、働くイメージを具体化しながら段階的に就労意識を育てる支援を実施している。	今後は、利用者の将来選択の幅を広げるため、資格取得やスキル習得(PCスキル等)につながるプログラムの導入を検討していく。また、地域企業との連携を強化し、より実践的な職業体験や進路支援の充実を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による多面的な評価・個別支援を行っている一方で、支援の質が職員個々の経験やスキルに依存しやすく、支援内容にばらつきが生じる可能性がある。	経験年数や専門分野が異なるため利用児、家族に重複した、もしくは見解のことなる課題や情報を提供しないように職員間の密な連携、情報交換が必要。	児童別に症例検討、会議の時間を設け情報共有を行う。各専門職の内容を理解するために職員間で研修を行う。
2	1対1の個別支援を中心としているため、集団場面での適応や対人関係スキルを実践的に学ぶ機会が限定的となる可能性がある。	個別支援の質を重視していることにより、意図的に集団支援や社会的場面の設定機会が少なくなっているため。	個別支援に加え、小集団での活動や対人場面を意図的に設定し、実践的な社会性やコミュニケーションスキルを育む機会を拡充する。
3	就労準備型の支援を行っているが、資格取得や具体的スキル習得の仕組みが十分に整備されておらず、将来の選択肢の広がり課題がある。	就労支援に関して、外部機関や企業との連携、資格取得に関するプログラム整備がまだ発展途上であるため。	地域企業や関係機関との連携を強化するとともに、資格取得やスキル習得(PC・作業スキル等)につながるプログラムを導入し、就労に向けた具体的な力を育成する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	SOI STANCE KIDS (放課後等デイサービス)
------	------------------------------

公表日 令和8年3月30日

利用児童数 23 回答数 12 回答率 52%

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				・個別指導で良いと思います ・二階建てになっていて、広いと思 います。いつも綺麗です。	・部屋数は十分に確保されており、個 別活動から集団活動まで、シーンに合 わせた使用が可能です。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2	・様々な方面から療育をして下さり、 手厚いと思います。	・専門職のスタッフが常勤しており、 お子さんの特性に合わせた支援を行っ ています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフ リー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			2	・綺麗に片付いていて、分かりやすい 構造だと思います。	・手すりや足台など、お子さんが安全 にご利用できる空間作りを行なって います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	12			1	・中を定期的に見ているわけではない のでわからない。	・掃除当番表を作成し、職員で日々清 掃を行っています。また、個別活動 ができる空間を用意しており、その日 の様子に合わせて部屋を変更するこ ともあります。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	13				字を書く苦手さや、話す苦手さなど、 様々な事に対応して頂いています。子 供が自分の気持ちに気づいたり、自信 がついてきた、元気になったと感じま す。	・標準化された検査や事業所独自のア セスメントを実施しています。引き続 き、お子さんの特性に合わせた支援を 行なっていくよう努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容 と合っていると思いますか。	12			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的 に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作 成されていると思いますか。	13				・支援内容を詳しく教えて頂けます。 子供の課題に合わせた内容で、支援し て下さっていると思います。	・アセスメント結果などをもとにお子 さんの特性に合わせた計画書を作成 し、保護者の方にも共有、周知して いただいています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家 族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項 目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されてい ると思いますか。	13				・子供に合っていて、親の希望も取り 入れて支援して下さいます。	・ガイドラインに基づき、お子さんや ご家族に合わせた各支援内容を設定し ています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	12	1			・行く度に、色々な活動があります。 子供が楽しく通えています。	・その日の児童の様子に応じてプログ ラム内容を調整して対応しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会がありますか。	1		2	10		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	13				・丁寧な説明がありました。	・今後も丁寧な説明を行い、安心して ご利用いただけるよう努めます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がな されましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われて いますか。	5	3	1	4	・説明があったような気もしますが、 あまり覚えていません。	・お子さんに関する相談や希望がある 方などに研修情報や講演の案内をお送 りしています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	13				・通所日に子供がどのように過ごした か、詳しく教えて頂けます。	・保護者の方が迎えに来られた際には その日の訓練内容を共有しています。 具体的な様子分かるよう、LINEでは 写真や動画での共有もしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	9	3		1	・迎えの際にお話できているが、時間 を設けてはいない。	・お迎えの際にもお話することもあ りますが時間が限られていることもあ るため、LINE等で詳しくお話しする こともあります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				・色々話を聞いて下さり、感謝して ます。	・引き続き、お子さんが前向きにご利 用できる関わりに努めていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、 きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流 の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		4	8		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備 されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応 されていますか。	11			2	・お迎えの際にお話したことが反映さ れていると信じています。	・お迎えの際やLINE等でお話した 内容はその日または翌日までに職員間 で共有し、すぐに対応できるよう日々 努めています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がな されていると思いますか。	12			1		
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者 に対して発信されていますか。	9	1	1	2			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9		1	3	・大きな地震があった際、すぐに安全な場所に避難して下さいました。迎えに行くまで、子供と一緒に居て下さいました。	・各マニュアルを作成し、避難訓練も定期的実施しています。引き続き、安心してご利用していただけるよう対策に努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			12	・訓練があるかどうかは知らないですが、本当の地震の際に避難してくださいました。	・各マニュアルを作成し、避難訓練も定期的実施しています。引き続き、安心してご利用していただけるよう対策に努めていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			4	・わからないが多分されていると思う。	・各マニュアルを作成し、避難訓練も定期的実施しています。引き続き、安心してご利用していただけるよう対策に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1	経験ないのでなんとも言えないが。	・事故や怪我が発生しないよう日々安全に気を付けていますが、訓練中に怪我等があった場合にはLINE等ですぐに連絡がとれる体制になっています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			・楽しみにしています。	・今後とも、お子さんが楽しんでご利用いただけるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				・まだ通わせてもらいたばかりなのでわからないこともありますが引継ぎ通わせていただきたいとおもっています。 ・手厚いと思います。	・今後とも、お子さんや保護者さんが安心してご利用いただけるよう努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SOI STANCE KIDS (放課後等デイサービス)		公表日		令和8年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・部屋数は十分で不足することはない	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・活動内容に応じて部屋を選択している ・掃除当番表を作り、清潔な環境作りに努めている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・子供の特性や課題内容に応じて個室が使用できる ・基本的に常に個別対応可能な空間は用意	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・コグトレ研修参加 ・各職種による勉強会実施	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・HPにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・計画内容に沿った課題提供をしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・標準化された検査や事業所独自のアセスメントを全員に実施している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・その日の担当者が計画書に沿って立案するが、必要に応じて相談はしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・その日の児童の様子や学校での困り事などに応じて対応している ・日々担当者が変わるため活動内容も固定化されない	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・子供の状況、計画書の目標によって、個別、集団で活動を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・必要に応じて行っている	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・必要に応じて行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・記録を残して変化がわかるようにしている ・当日、または翌日までに記録するよう努めている。記録を見返し、プログラムを立	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		課題の順番など本人が意欲を持って取り組めるよう相談して決めている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・基本的に児発管が参加	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・各所属先、他支援機関と情報共有を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		・機会なし ・該当ケースなし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		・機会なし ・該当ケースなし
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		・機会なし ・該当ケースなし
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・送迎時やLINEにてお伝えをしている ・保護者お迎え時にその日の活動内容の様子をお伝えし、家庭での様子を聞き取りしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・LINEで情報共有している	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	3		・保護者会等なし
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		・機会なし
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・契約時に確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・契約時に確認している	・機会なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			